

第5章 「自転車活用」の取組み

1. 施策体系

たのしむ

自転車を活用して楽しい毎日をつくる

大田区が推進する「自転車活用」のシーン

これまでに培ってきた【とめる】【はしる】【まもる】の土台を活かして自転車活用を推進し、区民の健康や暮らしの向上、観光振興、まちの賑わいづくりにつなげていきます。

暮らし 日々の暮らしで楽しむ

■ 10年後に目指す姿

- ・日々の移動で当たり前自転車を使う暮らしが根付いています。
- ・社会状況の変化にも対応し、新たな日常で活用されています。



子どもと一緒に
お買物やお出かけ
を楽しむ



地震等の災害時の
移動手段として
も使える

健康 健康づくりで楽しむ

■ 10年後に目指す姿

- ・日々の移動が運動時間になり、健康への意識が高まっています。
- ・健康づくりに自転車を使った運動を楽しむ人が増えています。



余暇を使って
サイクリングを
楽しむ



通勤での移動を
運動のチャンス
に変えて楽しむ

観光 観光・レジャーで楽しむ

■ 10年後に目指す姿

- ・区民自身がまちの魅力を発見し、大田区への愛着が高まっています。
- ・自転車を使ってまち巡りを楽しむ人が増えています。



自転車でまちの
魅力を見つけて
楽しむ



自転車を使った
イベントなどに
参加して楽しむ



たのしむ1 自転車を活用するためのきっかけづくり

日々の暮らしだけでなく、健康づくりや余暇時間の楽しみなど、様々な場面で自転車を活用できるよう、自転車の走りやすい道や安全な乗り方の情報提供、観光につながるイベントの実施など、自転車を活用するきっかけづくりを行います。

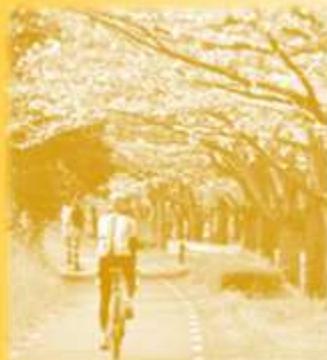


【たのしむ】
と連動

+ とめる

たのしむ2 自転車活用を根付かせるための支援

通勤や買物、健康づくりなど、日常の暮らしの様々な場面で積極的に自転車を活用していくためには、企業等と連携した組織的な取り組みも重要であり、自転車に乗ることのメリットのPRなど、自転車活用を根付かせるための支援を行います。



+ はしる

たのしむ3 【暮らし】【健康】【観光】の自転車活用を支える環境づくり

自転車を積極的に活用するためには、安全で快適に楽しめる走行環境、サイクリストが気軽に立ち寄れる場所の整備、シェアサイクルの利便性向上などが必要であり、主にハード面の自転車活用を支える環境づくりを行います。



+ まもる

2. 施策の展開

基本方針4 【たのしむ】 自転車を活用して楽しい毎日をつくる

たのしむ 1

自転車を活用するためのきっかけづくり

自転車は、通勤や買物など、日々の暮らしの中で必要となる様々な移動の場面で活用されています。

健康的で環境にもやさしく、自由度が高い移動手段としてのメリットを活かし、観光も視野に入れた自転車活用のきっかけをつくるための施策を展開していきます。



■ 施策の方向性

- 移動手段としての利便性だけでなく、自転車が有する健康面でのメリット、走りやすい道、自然環境に与える良い影響など、自転車を楽しく安全に活用するための情報提供等を行います。
- 新たな健康づくりのきっかけとして進める「はねぴょん健康ポイントアプリ」との連携、「大田区区民スポーツまつり」をはじめとしたスポーツ・健康イベントと連携した取組みなどを行います。
- まちの魅力を新たに発見し、気軽に楽しむことのできる「散走」など、自転車を活用した観光を普及する取組みを行います。

■ はねぴょん健康ポイントアプリ

区民の健康づくり促進のためにつくられたスマートフォンアプリです。令和3年12月末現在で2万7千人以上の登録者があり、ためたポイントで自転車等の景品に応募できます。



■ 散走

自転車で散歩するように、歴史や文化に触れたり、食を楽しんだりする自転車を活用した楽しみ方です。



■ 個別事業（例）

- ホームページ、SNS 等による自転車活用メリットの周知・啓発
- はねぴょん健康ポイントアプリで自転車に関する情報を発信
- スポーツ・健康イベントにおける会場間の移動手段としてのシェアサイクル活用
- 区民が参加できる散走イベント・ワークショップの開催

・・・など

自転車活用を根付かせるための支援

自転車は、短距離の移動では、自動車よりも便利かつ経済的であり、通勤等の日常的な活用により運動習慣の継続につながるなど、健康面でのメリットも期待できます。

企業等と連携を図りながら、日々の生活に自転車活用を根付かせるための施策を展開していきます。

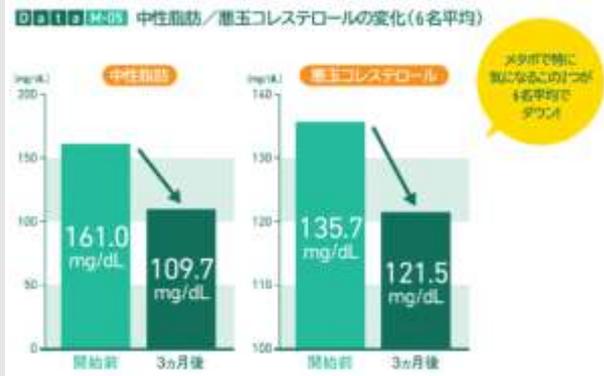


■ 施策の方向性

- 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、3密回避やソーシャルディスタンスの確保等、これまでとは違う新たな日常でも利用できる自転車のメリットなどを周知していきます。
- 区が社員の健康づくりに積極的に取り組む企業として認定している「おおた健康経営事業所」などの協力を得ながら、自転車活用を推進していきます。
- 空港、駅、宿泊施設等を起点とする、ちょっとした余暇時間に楽しめる自転車観光を促進します。

■ 自転車の運動効果

(株)シマノの公開する、3か月間の自転車通勤等の試行による効果検証のデータでは、中性脂肪、悪玉コレステロール等が変化することが明らかにされています。



自転車への興味を惹く魅力的なデータやコンテンツを、企業等と連携しながら発信することも検討していきます。

■ 個別事業（例）

- 自転車活用メリットを周知するためのチラシ、パンフレット等のツールを作成
- おおた健康経営事業所への自転車に関するアンケートやモニタリングの実施
- 区民や来街者が自転車で区内の観光スポットを巡る際のルート等の案内

・・・など

【暮らし】【健康】【観光】の自転車活用を支える環境づくり

自転車を活用する際の安全性や利便性を確保するため、駐輪環境と走行環境の整備を中心として進めてきました。

自転車を安心して活用することができ、積極的に自転車を選択したくなるよう、ハード面を中心とした環境づくりの施策を展開していきます。



■ 施策の方向性

- 多摩川河川敷、空港臨海部など、サイクリストに人気のある区の大切な資源を活かし、安全にサイクリングを楽しむことができるような情報を提供していきます。
- サイクリストの受入環境を充実させるため、サイクリング拠点の設置を推進していきます。
- 区民や来街者の自転車観光をさらに促進するため、シェアサイクルポートの整備を推進していきます。

■ 大田区ならではのサイクリングルート

大田区ならではの風景が楽しめるサイクリングルートに安全にアクセスでき、より楽しめるような環境整備を検討していきます。



■ サイクリング拠点のイメージ

■ 広島空港バイシクル・ハブ（HPより）

他の自治体では、鉄道駅や空港においてサイクリスト向けサービスを提供する事例や商業施設と連携した受入環境整備の事例があります。



■ 個別事業（例）

- 多摩川河川敷・空港臨海部の交通量調査等を踏まえた安全なルートの案内
- 自転車ラック、休憩所、自販機等を備えたサイクリング拠点の設置
- 区内観光のための新たなサイクルポート設置

・・・など